

各小学校長様
各小学校理科部員様
関係各位

東京都小学校理科教育研究会
会長 西尾 克人
研究部長 鳥居 圭

令和4年度 東京都小学校理科教育研究会 研究発表会のご案内

研究主題

「自然と向き合い、多様な考えを受け入れ、主体的に問題を解決する理科学習」
- 評価を基盤とした指導による資質・能力の育成 -

師走の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、東京都小学校理科教育研究会（都小理）では、今年度の研究発表会を下記のように開催いたします。ご多用の折とは存じますが、多数の皆様のご参会をお待ちしております。

記

■ 日 程 令和5年2月9日（木）

■ 時 程

13:00 13:30 14:15 14:25 15:00 15:10 15:50 16:30

受付	授業参観 オンライン参観	準備 移動	分科会 発表・協議	準備 移動	全体会 挨拶・報告	講 演	閉会
----	-----------------	----------	--------------	----------	--------------	-----	----

■ 会 場 江戸川区立二之江第二小学校（校長 杉山 勇）

【所在地】 〒134-0003 江戸川区春江町5-13

【電話番号】 03(3687)8031

【アクセス】 都営新宿線「一之江駅」より 徒歩12分

■ 公開授業 第3・4・5・6学年〈理 科〉・・・都小理研究部提案

■ 研究発表（分科会・全体会）
全体会、講演会は、オンライン配信を予定

■ 講 演 「都小理の今後に期待すること」

講 師 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター
研究開発部 教育課程調査官・学力調査官

有本 淳 先生

令和4年度 東京都小学校理科教育研究会 研究発表会 公開授業内容

第3学年 理科	<p>単元名「物と重さ」(粒子領域)</p> <p>講師 お茶の水女子大学 ISE 客員教授 林 四郎 先生</p>	<p>【公開学級】 第3学年2組</p> <p>【授業者】 長谷川 貴明</p>	<p>【研究推進委員長】堀越 新一(府中市立小柳小学校長)</p> <p>【委員会の提案】「粒子の保存性」における指導の工夫</p> <p>「粒子の保存性」において、児童の実態を考慮し、実物に触れ、手ごたえを感じたり、実際に重さを量ったりする活動を充実させ、複数の物質について丁寧に問題解決していく学習の場面を設定しました。また、タブレット端末を用いて対話を通じた問題解決の振り返りを試みます。児童の素朴な概念を踏まえ、物の形や体積と重さに着目しながら、質量保存や物質固有の重さについて、質的・実体的な見方を豊かに働かせることができる指導の工夫を提案します。</p>
	<p>単元名「電流の働き」(エネルギー領域)</p> <p>講師 元聖徳大学 教授 津幡 道夫 先生</p>	<p>【公開学級】 第4学年1組</p> <p>【授業者】 田代 瀬奈</p>	<p>【研究推進委員長】稲垣 昌弘(豊島区立仰高小学校長)</p> <p>【委員会の提案】定性と定量の視点で問題を科学的に解決する指導の工夫</p> <p>電流の向きとその大きさについて、児童が電池の個数やつなぎ方の違いに着目し、定性と定量の視点で科学的に問題を解決できる観察、実験に臨む場面を設定しました。理科の見方・考え方を働かせ回路を自ら作成し、主体的に観察、実験を行うと共に、ICT を活用して自分の気づきを確認したり、友達と情報を交流したりする指導の工夫を提案します。</p>
第5学年 理科	<p>単元名「流れる水の働きと土地の変化」(地球領域)</p> <p>講師 元帝京大学 教授 赤石 保 先生</p>	<p>【公開学級】 第5学年1組</p> <p>【授業者】 北倉 邦信</p>	<p>【研究推進委員長】西田 香(世田谷区立桜小学校長)</p> <p>【委員会の提案】自然現象とモデル実験を関連付け、考えを深める児童を育成する指導の工夫</p> <p>モデル実験を「自然現象の一部を抽出・制御して設計した実験装置及びそこで起こる現象」とし、流れる水の働きについて考えを深めるために指導・評価計画や教材等を工夫しました。今回は、郷土の川である荒川をタブレット端末やQRコードを活用しながら多面的に捉えます。また、流れる水の量と土地の変化との関係に着目して解決の方法を発想し、自然現象とモデル実験を関連付けながら考えを深めていく指導の工夫を提案します。</p>
	<p>単元名「生物と環境」(生命領域)</p> <p>講師 元玉川大学教職センター教授 畑中 喜秋 先生</p>	<p>【公開学級】 第6学年2組</p> <p>【授業者】 明 真理亜</p>	<p>【研究推進委員長】五味川直季(三鷹市立井口小学校長)</p> <p>【委員会の提案】自然現象を「つながり」「連続性」「循環」など、巡り、続いているという見方を豊かにする指導の工夫</p> <p>生命領域において、児童が自然現象に対して「つながり、連続性、循環」という見方で自然現象を捉え直すことが学びを深めることにつながると考え、指導計画を工夫しました。3年生から積み重ねてきた生命領域の学習を生かすとともに、ICT 機器を効果的に活用しながら、児童一人一人が、生物と環境について、より妥当な考えをつくりだすことができるように、観察、実験で確認したことをつなげていく指導の工夫を提案します。</p>

※参加をご希望の方は以下の申込書をFAXにて以下の宛先まで送付願います。【締め切り1月12日】
 なお、感染予防のため、参加人数を制限させていただきます。参加の可否については申込み順とさせていただきます、ご参加いただけない場合は都小理事務局よりご連絡いたします。

＜都小理研究発表会 参加申込み＞ 参加を希望する領域に○を付けてください。

粒子 () エネルギー () 地球 () 生命 ()

参加者学校名 () 氏名 ()

連絡先 ()

FAX 送付先: 板橋区立赤塚新町小学校 校長 田中 薫子 (都小理副会長)

FAX 番号: 03-5998-4909